

無党派

世界初!女性から男性のトランスジェンダー議員

違いを認め合い 互いを尊重しあえる

- ~プロフィール~
- ・平成3年 女性として生まれる.入間市立野田中学校卒業、私立埼玉平成高等学校卒業
- ・ 帝京大学医療技術学部臨床検査学科卒業. 大学在学中に、女性→男性に戸籍変更
- ・ 臨床検査技師として病院勤務。 2017年入間市議会議員選挙 最年少25歳 初当選
- ・女性から男性へのトランスジェンダーの地方議員として世界初となった
- ・人権課題に取り組む他、毎議会教育・福祉等の一般質問を行なっている
- ・2020年6月 英国の非営利団体「One Young World」主催、世界各地より 「地域社会の若者に好影響を与える」年間最優秀政治家 15人中に選ばれた

所属:総務常任委員会・議会広報委員会・入間青年会議所・入間市消防団























国ができるだけ早期にワクチンを供給できるよう準備を進めており、

入間市でも(2月末現在)、新型コロナワクチンが薬事承認された後、速やかにワクチン 接種が可能となるよう、接種体制の整備、関係機関との協議、調整等の準備を進めております。 ワクチン接種スケジュール等最新の情報については、市公式ホームページや

【市公式ホームページ 新型コロナウイルス感染症のワクチン接種について】





▶▶ 詐欺行為にご注意ください!!

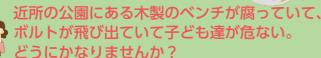
広報いるま号外等で随時発信されます。

「高齢者を対象にPCR検査とワクチン接種を受けられる。予約金を振り込んで欲しい」などと、 金銭を要求する不審な電話が県内で確認されています。

行政機関等が、新型コロナウイルスワクチン接種に関して、現金を要求することはありません。

安心・安全で遊べる公園

子育て中の方から、こんなお声を頂きました。



🤼 すぐに担当課にお伝えさせて頂きました。 10年近く経っており、腐ってしまい危なく、 怪我をしたら大変との事で撤去して頂きました。

Before

新型コロナウイルス感染症に関連した相談窓口

埼玉県新型コロナウイルス感染症

県民サポートセンター

受診先の確認のほか、一般的な相談をすることが できます。

雷話番号:0570-783-770

(聴覚障がいの方向け ファクス番号048-830-4808)

受付時間:24時間年中無休

(ファクスによる御相談の場合、回答までにお時間を

頂く場合があります)





人口減少対策:結婚支援について

- 質問 1. 「SAITAMA出会いサポートセンター」に登録されている、入間市の企業数は
 - 2. 結婚支援事業実施に伴う課題
 - 3. 近隣市と共同して、婚活支援を進める考えがないか



- 答弁 1. 市内の企業については、1社が企業等会員として登録されている
 - 2. 市独自で事業を展開することには限界があり、協定に基づいた事業を強化していく等、民間のノウハウを 積極的に取り入れて事業を進めていく
 - 3. これまでも埼玉県西部地域まちづくり協議会の事業として婚活イベント「ダイア♥コン」を開催 今後も、近隣市と連携しながら今後も広域的な出会いの場を創出していく

特定健診の受診率向上に向けて

質問 1. 受診率の推移

3. 受診率向上に向けた取り組み

2. コロナ禍の影響は

- 4. AIを活用した特定健診の受診勧奨
- 答弁 1. 過去3年の推移は、平成29年度で41.1%、平成30年度で41.5%、令和元年度では、42.1%
 - 2. 緊急事態宣言の中で、国の「特定健康診査・特定保健指導等における対応について」の通知があり、 緊急事態宣言中の実施を控えるようにとの指示があったので、例年6月に行う特定健診受診勧奨通知を 見送った。6月の集団健診を行わず、又、自主的な受診控えもあり、昨年度と比較して上半期の 受診状況が減少している
 - 3. 入間市工業会及び入間市商工会会員へ勧奨チラシの配布。又、駅やスーパー、郵便局等にポスター掲示、 担当課だけでなく関係部署の協力等で直接受診の働きかけを行っている
 - 4. 昨年8月と10月に県から市町村に対して参加の有無についての照会があり、入間市は参加希望で提出した 今後、この県の取組や先進事例の状況を参考に研究していく

コミュニケーション支援ボードの導入を

- 質問 1. 現状: 来庁時、災害時の避難所などで聴覚障害者の方との意思疎通はどうしているのか
 - 2. コミュニケーション支援ボードの導入・活用を
- 再質問 災害時において、手話通訳者自身が被災したり道路の寸断で行けない場合があると思うが、 そのような場合はどのように考えているのか
- 答弁 1. 手話通訳、要約筆記、筆談等で対応している 災害時においても、意思疎通支援者派遣事業を活用し、必要に応じて対応する
 - 2. コミュニケーション支援ボードを導入している自治体があることは認識している 今後、より幅広く効果的に活用できるよう関係課と協議しながら研究する

再答弁 今後、コミュニケーション支援ボードの導入も含め検討していく





¢ 昨年の9月議会で、「STOP!コロナ差別 ─差別をなくし正しい理解を─ キャンペーン」 参加の検討を 一般質問で提案しました。

▶▶ その後、埼玉県で唯一「入間市」が市長メッセージを発信して頂きました。



₹新着と道路の危険箇所 現地意見交換のその後

ぶしニュータウンから馬引沢飯能線に交わる、T字路について "危険だ"などの多くのお声を頂いていた箇所について、地元の方々と 以前意見交換を行いました。

その後、市として早急にできる策として目立つ看板を3ヶ所に設置 して頂きました。引き続き、注視して参ります。

何かお困りごとがございましたら、お声掛け下さい。



細田ともや後援会発行

http://h-tomoya.com

〒358-0055 入間市新光306-888

& 080-8739-3649 🖷 04-2633-4808

こちらのチラシはUDフォントを使用しています。

掲載・出演メディア

細田智也

NYタイムズ・The Independent(イギリス) NBCニュース

読売・朝日・毎日・産経・東京・埼玉各地方新聞等 AERA・Wikipedia等

NHK(おはよう日本・首都圏ネットワーク) 討議資料